

平成 30 年度 第 8 回 理事会議事録

日時：平成 30 年 11 月 27 日（火）19：00～：20：50

場所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、高村、有泉、大西、井村、名取、
菊池、古屋、鈴木、三科、小林司
(部長) 小林泰、入倉

書記：笹本

会員管理情報

慶事 2 件 弔事 1 件 施設数 132

会員数 905 名 (施設 845 名 自宅 60 名)

I. 審議事項 (全 3 題)

1. プロジェクターの購入について：学術研修局 学術研修部 (名取局長)

・学術研修部所有のプロジェクターが老朽化し使用困難。会場によってはプロジェクターのレンタルを実施していない所やプロジェクターのレンタル代が高価な所が増えている。そのため部で新規購入をしたい。今年度予算化しており、見積もりは 4 社から取っている。→ 承認。

・薄型の PC でも対応できるように HDMI のケーブル又は変換ジャックを一緒に購入した方が良いのではないか。→学術研修部で以前ケーブルを購入(局長決済)しているので、確認をして必要であれば購入をする。

・使用年数によっては壊れていても処分の手続きが必要となる。使用年数(出来れば購入時の記録)等を確認して必要あれば対応をする。

2. デジタルカメラの購入について：広報局 会報部 (大西局長)

所有のデジタルカメラはピントが合わず使用できない。見積を 2 社で取り、安い方を見積もりの物(デジカメとケース)を購入したい。今年度の予算に計上してある。→ 承認。

3. 「県内ケアマネージャーへのセラピストに関する意識調査」の結果の周知方法について：企画局 調査研究部 (井村局長)

方法として①県士会 HP へ調査結果を掲載、②県内の各事業所(132 事業所)へ 1 部郵送を検討している。→ ①と②の方法で承認。ケアマネ協会へは、事務局へ会長宛で郵送する。添付の枚数が多いので両面印刷。印刷・郵送については事務員が作業を行う。

II. 報告事項 (全 25 題)

1. 各種委員会報告

・表彰委員会：報告なし

・選挙管理委員会 (代理 有泉局長)

協会から分科学会の運営幹事の選挙が公示される

連絡があった。HP で周知をはかる。

・士会支部組織化検討委員会 (三科委員長)

引き続き連絡代表者を決めているが 20 施設ある中 6 施設で代表者が決まった。郡内で県士会に所属していない方が多くいることが分かった。

・訪問理学療法委員会 (小林司委員長)

平成 30 年山梨県生活期リハビリテーション研修会を 10 月 20 日、21 日に開催。研修内容は合計 10 時間で参加者数は 38 名、全受講した参加者は 16 名となった。

・災害対策委員会 (代理 有泉局長)

本日 (11 月 27 日)、県立中央病院で HUG の研修会が行われている。山梨県リハビリテーション専門職団体協議会長として磯野副会長が出席している。

・地域支援事業等推進委員会 (小林会長)

POS バンクの案内が郵送されている。新規登録や取り消しの場合、連絡が必要となる。県と連携して研修会の整理・人材の育成を検討し、名簿を作成していく。来年度、「認知」「介護予防」「ケア会議」「家屋調査」の 4 つを人材育成の研修会として行っていく予定。

・特別支援教育委員会 (代理 有泉局長)

11 月 17 日 (土) に甲府支援学校で第 2 回特別支援教育委員会研修会を開催した。参加者は 40 名。

・認知症対策委員会：報告なし

・がんリハ対策推進委員会 (小林会長)

拠点病院とがんリハを行っている 26 病院施設へアンケート調査を実施。県は、来年度にがんリハに関する講演会を企画、またネットワーク作りとして協議会 (代表者会議を 1 回、実務者会議を計 3 回) を行う方針。

・やまなし地域リハ・ケアを考える会 (小林会長)

10 月に第 3 回研修会を実施。70 名の参加があった。今後の予定としては 2 月中旬頃にケアマネの研修会で POS の代表者が症例報告をする予定。

・オリ・パラスポーツ委員会 (代理 古屋局長)

①HP にアンケートの結果を掲載しているが、結果からの意見・質問などを受け付け、フィードバック用のメールアドレスを追加掲載した方が良いのか等今後県士会としての方針を確認したい。→スポーツ PT 部が窓口として意見集約をする。

②協会は障がい者スポーツをメインに考えており、競技のスキルや生活部分の介入を検討している。オリピック・パラリンピック終了後、障がい者スポーツに県士会がどのように関わっていくのか。現在のスポーツ PT 部は、健常者スポーツの関わりでマンパワー的に難しい。今後、障がい者スポーツの新たな部門を設立した方が良いのではないかと。→状況の把握が難しく、対応に様々な方法があると思うので、まずは、スポーツ PT 部で指針を検討して欲しい。

- ・働きやすい環境創り検討委員会：報告なし。
 - ・地域支援事業推進委員会：報告なし。
2. 学術研修局 委託講習会部（名取局長）
- ①部長の交代について、後任として清水先生（健康科学大学リハビリテーションクリニック）を推薦した。
 - ②来年度の理学療法士講習会（応用編）について、平成31年7月13日～14日に臨床動作分析を高村先生（健康科学大学リハビリテーションクリニック）を講師に、平成31年10月19日～20日に脳卒中片麻痺者への上肢アプローチを鮎川先生（山梨リハビリテーション病院）を講師に計画している。
 - ③第2回理学療法士講習会（応用編）の報告について、平成30年10月19日～21日に脳卒中片麻痺者の実践的アプローチを北山先生（山梨リハビリテーション病院）を講師に実施。30名の参加者があった。
3. 社会局 委託事業部（古屋局長）
- ①平成30年度「介護予防・リハビリテーションのつどい」の協力について、11月15日に相談ブースを設置して対応をした。
 - ②平成30年度「都道府県士会理事育成研修会」の出席について、11月10日、11日に参加した。
4. 社会局 スポーツ理学療法部（古屋局長）
- ①U14須玉テニスについて報告。
 - ②スポーツ理学療法勉強会について、2月初旬に「ドーピングについて」川田先生（スポーツファーマシスト、薬剤師）を講師に実施予定。日程は決まっていないが、部員以外のオリパラ応募希望者への周知としてHPに載せた方が良いか。→HPに掲載する。
5. 福祉厚生局 介護保険部（鈴木局長）
- ①医療・介護保険部合同研修会事業報告について、10月26日に雨宮先生（山梨県立中央病院）、遠藤先生（山梨ライフケア・ホーム）を講師に実施した。51名の参加があった。
 - ②11月22日に地域理学療法研修会を開催。次回の理事会で詳細を報告する。
5. 学術大会局 士会学術集会部（菊池局長）
- 第22回山梨県理学療法士会学術集会進捗状況について、学会誌は大会1ヶ月前に士会員に届く予定。一般演題数は27演題。事前参加登録者は35名で締め切りは12月30日となっている。申請方法は、FAXだと文字が潰れる可能性があるため、可能であればWeb上から登録をして欲しい。PCは事務管理局から2台、もう1台を他部局から借りて対応をする。協賛企業については、明日から2週間HP上で展示の募集（場所と机の提供）を掲載する。会場へ機器展示の場合展示スペース費用が別途かかるのか、どの位の区画がとれるのか確認をする。郵送は今まで通り関係団体へ郵送する。来年度、送付先について検討する。
6. 生涯学習局 新人教育研修部（代理 有住局長）
- 第2回新人教育研修会を10月23日、31日に開催。他

職種連携セミナーを11月19日に開催した。

7. 事務管理局（有泉局長）

- ①協会との意見交換会について
平成31年1月22日（火）の理事会前に開催。18：30～20：00意見交換、終了後理事会開催（～21：00）とする。
- ②甲府市介護認定審査会委員の推薦について
甲府市役所から2年任期満了（平成31年3月31日）に伴い3名の推薦依頼あり。前任の藤田先生（湯村温泉病院）、柴田先生（石和共立病院）、横山先生（城東病院）を推薦。3名ともに委員継続で任期は平成31年4月1日から2年間となる。
- ③理学療法ハンドブックについて
各1,000部（合計3,000部）の申し込みを行った
- ④山梨県知事選挙対応に関して（小林泰部長）
自民党の長崎幸太郎氏を推薦する。

III. その他

- ・PCについて、すぐに古くなるのでリースにしたらどうか。→事務管理局で今後検討する。

IV. 次回の理事会日程について

日時 平成30年12月25日（火）19：00～
場所 県士会事務所
連絡 12月21日（金）までに審議事項および資料を事務管理局（有泉理事）へ提出する。
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。

V. 会長より

- ・各部局の研修会等がスムーズに行われている。残りわずかとなってきた。引き続き、宜しく願いしたい。